

01 小山地区 ～時代とともに進化する～住みやすくちょうどイイまち

ビジョンと未来を語る会の意見、整理シート | 推進会議 2026 年 4 月

ビジョン	自分自身でやりたいこと	地域の仲間とやりたいこと	小山市と共創したいこと	他地区と連携してやりたいこと	優先順位
ちょうどイイ～“ゆるひろ”なコミュニケーション～ 世代や国籍をこえて自由でゆるやかな絆をつくる“ゆるひろ”なコミュニケーションが活発になり、生活マナーや防犯意識が自然と定着しています。まちなかの排水機能や豊穂川の治水機能の整備により、災害に強いまちになり、須賀神社祇園祭や街路樹管理も多様な人々が協力し、まちの誇りと美しさを保っています。	・社員でゴミ拾い ・地域のイベントに参加する ・大人も子どもも関係なくあいさつする ・地域を知る、子供を知る、産業を知る、仕事を知る（働く意義を知る） ・ボランティア活動（子ども食堂）	・ゴミ出しのルールを守るように地域のみんなで指導したい ・盆踊りを通して多世代の交流と文化の継承・発展を地域の活性化につなげる ・高齢世代と子供世代の関わりをつくる ・地域で子育て「大家族なまちづくり」 ・お祭りに参加し住民と共に盛り上げる ・子どもたちが楽しめる場所（駄菓子屋）を仲間とやってみたい ・みんなでまちをきれいに清掃活動（ミッションが明確で人手が求められれば参加する人もいるかも）	・外国人や市外等から来た人への小山市ルールの周知 ・活動している人同士が結び付く場の形成、サポート ・ゴミ出しマナー等多言語マニュアル化 ・要介護者の早朝ゴミ出しの助け合い ・外国人向けに日常生活における注意点などの説明会の実施 ・ごみ問題の解消、ごみステーションの掃除当番へのアプリ活用 ・若者とともに地域づくりや仕事づくりの会議を設ける	・市民活動のネットワーク強化	
ちょうどイイ ～快適な移動と心地よい滞在～ 小山駅周辺はいつでもどこからでも公共交通を使って移動ができ、公共交通に乗り換えるための駐車場が整備されたため、車の流入が減り、その分自転車専用レーンなどが整備されています。	・ウォークブルな暮らしの実践				
ちょうどイイ ～まちなかと緑、ゆとりとにぎわい～ 街路樹や公園の木々が点在し、ゆとりある歩道と街灯で昼夜を問わず安心して歩くことができます。また、空き家を活用した取組みが広がり、古くからの商店や工場は新たな展開を見せ、新店舗と共存し地域を支えています。			・空き家を報告すると地域ポイント還元		
人々がにぎわう大交流拠点駅西口エリア 西口まつりやビールまつりは変わらず開催され、ロブレ跡地は再々開発で文化・教育機能を備えた施設としてまちのシンボルになっています。城山公園で家族がピクニックを楽しみ、思川では花火大会などのイベントで憩いとつながりが生まれています。	・思川沿いで人々が集まれるイベントなど	・夜市 ・みんながやってみたいをかなえるマルシェの開催	・祇園城通りのホコ天 ・朝市の開催 ・夜マルシェ（ホッシー号の活用） ・駅周辺のお店を盛り上げるはしご酒優遇制度	・市全体でのお祭り ・祇園城通りのホコ天や思川の利用等 ・若者が集えるようなイベントを夜にやることで他にないものができるのではないかな。 ・自治会の垣根を超えたイベントの開催	

ビジョン	自分自身でやりたいこと	地域の仲間とやりたいこと	小山市と共創したいこと	他地区と連携してやりたいこと	優先順位
小山のルーツを感じる歴史と 緑の空間・駅西口南北エリア 思川左岸の河岸段丘は社寺林や史跡が連続し、歴史と緑を感じる空間が広がり、小山総合公園から栗宮周辺は一体的な交流エリアとなり、世代を超えた交流の輪が広がっています。					
駅を使いこなす住環境駅東城北エリア 緑に囲まれた住宅街の公園は、住民が見守る中子どもたちが遊ぶ姿が見られ、駅東口は商業施設で買い物を楽しむ人々にぎわい、ペDESTリアンデッキの整備により快適な移動環境が整っています。	・新しくできる東口のペDESTリアンデッキの活用法を考える				
駅周辺と共に発展する・城南エリア 誰もが公共交通を使うことで渋滞が緩和され、緊急対応が迅速化し防災・医療への安心が高まっています。希望が丘公園や城南公園では子どもが生き物と触れ合いながら学べる場となっています。					
田園環境都市おやまの中核を担う地区 街灯には再生可能エネルギーを活用し、生ごみや落ち葉は堆肥化し田園部で役立てられ、家庭菜園や屋上緑化により、街路樹や公園とつながる緑の回廊が生態系の回復に貢献しています。都市部の消費力が田園部を支え、田園部の自然や農産物が都市部の暮らしを豊かにしています。		・みんなでつくるコミュニティーガーデン		・田園部で収穫した農作物の販売 ・田園部について知る機会（田んぼの取り組み、子どもの遊び場）をつくる ・地区を横断した交流の推進 ・市街地区と農村地区で農業繁忙期のアルバイトやボランティア募集などの制度 ・遊びのなかで学びを見出す@学校、公園、公民館、商店 ・各地区から農産物を集めた朝市の開催 ・豊富な人材を田園部で生かす（自然資源体験を絡めて管理もできる） ・自然体験ができるように田園部の学校へ一日体験入学	

ビジョン	自分自身でやりたいこと	地域の仲間とやりたいこと	小山市と共創したいこと	他地区と連携してやりたいこと	優先順位
そのほか	小山市全体の課題（道路やインフラ）を 見える化する。みんなが発信者で共有者 となる ・ SNS などでは小山地区の情報を発信する ・ ユースラジオで活動を深める（若者による情報発信） ・ 地区を知り（小山氏の歴史、お店、自然環境）、知人へ紹介する	・ 他市や若者がうらやむ空間づくり ・ 小山地区は恵まれているからこそ、現実的な危機感の共有	・ 前例主義にとらわれず、若者の意見を取り入れ常に先端的なものを民間と一緒にやりたい ・ 景観（思川桜の見頃）マップを作って発信 ・ 高岳引き込み線の活用 ・ 遊歩道を活用して移動が便利になる仕組みの構築 ・ 高齢者や買い物難民のための移動販売などの仕組み ・ 独居老人のケアなど高齢化社会への対応 ・ 市民によるボランティアのローカルふるさと納税制度	・ リラックスした環境でイベント（森活リトリート） ・ 各地区ごとに特派員をおいて違う地区を探検する ・ イベントを共同で開催 ・ ひとり1 推し地区をつくり応援	